

まちのニュース **カメラ・アイ** ~ 地域のお届けします ~



6/24

大通自治会女性部 街路灯に花設置

6月24日(火)、大通自治会女性部(山田せい子部長)を中心に大通自治会の宝寿会のメンバーら約20名により大通街路灯へ花が設置されました。設置された花は、ハルキングバスケットといわれる方法で大通31基の街路灯に吊り下げられ、赤やピンクのインパチエンスの花が、街路灯中央部分のちようど人の目線近くとなることからより一層きれいな花を見ることが出来ます。女性部長の山田さんは「環境が大きなテーマとなっている。町内を花いっぱいにして飾りきれいな環境にしたい。また新しい自治会になり、みんなで協力して環境美化に努めていきたい」と話していました。



6/24

中学校カヌー体験授業

6月24日(火)、南丘森林公園において和寒中学校1年生(34名)によるカヌー体験授業が行われました。この授業は、今年から総合学習の一環として地域を学ぶことをテーマに行われたもので、講師に北海道カヌーディアンカヌークラブの酒向勲代表を迎え、カナディアンカヌーの試乗体験や、ダンボールを使った手作りカヌーなどに挑戦していました。ダンボールカヌーでは、沈まないように工夫した、力作ぞろいのカヌーで、対岸に全員が渡りきることを目標に行われましたが、上手に渡りきるカヌーや、すぐに沈没してしまうカヌーなど、日頃なかなか経験できない体験に生徒たちからは大きな歓声があがっていました。



7/10

小学校2年生町探検授業

7月10日(木)、和寒小学校2年生(27名)が生活科の町探検授業の一環として役場を訪れ、仕事の内容などについての学習を行いました。子どもたちは、庁舎内を移動しながらそれぞれの課の仕事について説明を受けたり、日頃なかなか入ることのできない議場内等を見学しました。また、日頃から疑問に感じることを町長に質問し「町長の一番大事にしていらっしゃるものはなんですか」との質問に伊藤町長からは「1番目は家族。2番目は友人。家族を大切にし、また多くの友達を作って悩みを相談したり助け合っていくことが大切」と話され、真剣な表情で学習していました。



7/14

中学校全校生徒による 初の農業体験学習

7月14日(月)、中学生の1年生から3年生までの91名が総合的学習の一環として農業体験学習が行われました。この授業は、和寒町の基幹産業である農業を体験するなかで、勤労の尊さ、大変さ、充実感、達成感を味わうとともに、農業や郷土についての理解を深めることを目的としています。この日、金谷浩幸氏の倉庫では、カリフラワーの出荷作業が行われ、丁寧に葉を切り落としたり出荷用の箱作りなど、真剣に作業に取り組み農業について学習を深めていました。



7/19

和寒高等学校校祭

7月19日(土)から20日(日)、和寒高校において「踊る大和高祭 楽しすぎて閉祭できません」をテーマに学校祭が行われました。毎年恒例となっている行列では、2年生と3年生が作成した力作揃いの行灯のほか、PTA連合会や大通自治会で作成した行灯も加わり、合計5基の行灯が商店街をねり歩きました。生徒会長の石川沙季さん(3年生)は「少ない人数だけど他の学校にも負けたくないようなものにした。また、2年で閉校、地域の方々など多くの人々に支えられていることに感謝したい」と語り、高校生活最後の学校祭を楽しんでいました。その後、ふれあい広場での屋外パフォーマンスでは、踊りなどが披露され、町民の皆さんを楽しませていました。